

2025年 5月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年 1月15日

上場会社名 東京高圧山崎株式会社 上場取引所 東
コード番号 7139 URL https://www.tokyo-koatsu.com/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二階堂 貴朗
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理本部長 (氏名) 江口 康久 (TEL) 03-(3409)-7541
中間発行情報提出予定日 2025年 2月28日 配当支払開始予定日 —
中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年 5月期中間期の連結業績 (2024年 6月 1日~2024年 11月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年 5月期中間期	6,080	5.8	147	△8.6	152	△7.2	113	△12.5
2024年 5月期中間期	5,747	△1.3	161	△25.4	164	△23.1	129	113.8

(注) 中間包括利益 2025年 5月期中間期 52百万円 (△69.6%) 2024年 5月期中間期 173百万円 (213.8%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年 5月期中間期	275.74	—
2024年 5月期中間期	314.28	—

(注) 潜在株式調整後 1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年 5月期中間期	10,155	3,166	30.0
2024年 5月期	10,042	3,145	30.1

(参考) 自己資本 2025年 5月期中間期 3,045百万円 2024年 5月期 3,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2024年 5月期	—	60.00	60.00
2025年 5月期	—	—	—
2025年 5月期(予想)	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2025年 5月期(予想)については配当を予定しておりますが、具体的な配当金については現時点では未定であります。

3. 2025年 5月期の連結業績予想 (2024年 6月 1日~2025年 5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	12,357	3.1	320	△20.9	303	△25.1	181	△30.9	440.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年5月期中間期	439,386株	2024年5月期	439,386株
2025年5月期中間期	28,233株	2024年5月期	26,855株
2025年5月期中間期	412,448株	2024年5月期中間期	413,571株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当中間連結会計期間における日本経済は、ウクライナや中東地域の紛争の長期化、中国経済の減速など先行き不透明な状況のなか、景気の一部に足踏みが残るものの、インバウンド需要の拡大と個人消費の持ち直しの動きがみられたことから緩やかな回復となりました。

このような事業環境のもと、当社グループは、販売先に対する製品及び取扱商品の安定供給に努めるとともに、原材料調達価格の高騰に対し販売価格の是正や物流の効率化に取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は6,080,386千円（前年同期比5.8%増）、営業利益は147,440千円（前年同期比8.6%減）、経常利益は152,878千円（前年同期比7.2%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は113,729千円（前年同期比12.5%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(産業ガス・溶材機材事業)

産業ガスは、全般的に製造業向けの需要減少が続く厳しい状況にあり、主力の高圧ガスの出荷量が伸び悩んだことから売上・利益ともに減少いたしました。

溶材機材は、建設コストの高騰や人材不足などから、工程の遅延などもあり国内の需要は厳しい状況が続いておりますが、海外向けの出荷量が回復したことと、機械装置や設備工事関連の受注が堅調に推移し売上・利益ともに増加いたしました。

この結果、当中間連結会計期間における産業ガス・溶材機材事業の売上高は4,454,295千円（前年同期比7.8%増）、セグメント利益は131,017千円（前年同期比14.5%増）となりました。

(ファイン製品事業)

化成品は、グリシン等の食品添加物やアクリルエマルジョンなどの塗料用原料及び当社フロン代替用スーパーガス（HF₂O）の販売が堅調に推移いたしました。ウレタン断熱パネル及び断熱工事は、国内需要低迷により売上高は前年並みとなりましたが、低収益工事案件が多かったことから利益は減少いたしました。

化学品は、無水ホウ酸やPE、PP樹脂及び塩化ビニール加工品の受注が堅調に推移し売上・利益ともに増加いたしました。

建設用塗料及び塗材は、大型建設現場が堅調に推移し回復の兆しはあるものの、新築戸建住宅向けOEM製品の需要が低迷したことから、売上高は前年並みとなりました。

特機製品は、主力のマスフローコントローラは半導体市場の需要の回復の遅れにより売上・利益ともに減少いたしました。

この結果、当中間連結会計期間におけるファイン製品事業の売上高は1,611,697千円（前年同期比0.7%増）、セグメント利益は11,650千円（前年同期比72.2%減）となりました。

(その他)

不動産事業においては、当中間連結会計期間の売上高は14,392千円（前年同期比0.8%減）、セグメント利益は4,772千円（前年同期比3.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は5,769,818千円で、前連結会計年度末に比べ99,362千円増加しております。現金及び預金の増加82,246千円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加50,581千円、商品及び製品の増加49,021千円、電子記録債権の減少80,665千円が主な変動要因であります。

(固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は4,385,181千円で、前連結会計年度末に比べ12,873千円増加しております。機械装置及び運搬具の増加67,988千円、繰延税金資産の増加27,131千円、投資有価証券の減少93,554千円が主な変動要因であります。

(流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は5,195,924千円で、前連結会計年度末に比べ93,138千円増加しております。支払手形及び買掛金の増加58,404千円、電子記録債務の増加42,588千円、短期借入金の増加70,000千円、1年内返済予定の長期借入金の減少128,308千円が主な変動要因であります。

(固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は1,792,614千円で、前連結会計年度末に比べ2,253千円減少しております。長期借入金の減少17,961千円、退職給付に係る負債の減少2,229千円、リース債務の増加18,511千円が主な変動要因であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は3,166,461千円で、前連結会計年度末に比べ21,351千円増加しております。親会社株主に帰属する中間純利益の計上113,729千円等による利益剰余金の増加88,977千円、その他有価証券評価差額金の減少62,467千円が主な変動要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比べて82,096千円増加し、1,052,396千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は275,216千円（前連結中間会計期間93,055千円の収入）となりました。この主な要因は、「税金等調整前中間純利益」185,341千円、「売上債権の増減額」30,084千円、「仕入債務の増減額」85,580千円により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は73,703千円（前連結中間会計期間60,656千円の収入）となりました。この主な要因は、「投資有価証券の売却による収入」49,855千円により資金が増加し、「有形固定資産の取得による支出」91,102千円、「のれんの取得による支出」20,000千円、「投資有価証券の取得による支出」10,000千円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は119,416千円（前連結中間会計期間77,765千円の支出）となりました。この主な要因は、「短期借入金の純増額」70,000千円、「長期借入れによる収入」300,000千円により資金が増加し、「長期借入金の返済による支出」446,269千円により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月期の業績予想につきましては、変更はありません。

なお、今後の業績動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,005,849	1,088,095
受取手形、売掛金及び契約資産	2,462,029	2,512,610
電子記録債権	1,371,643	1,290,977
有価証券	50,000	50,000
商品及び製品	429,731	478,753
仕掛品	30,775	25,393
原材料	188,305	200,544
その他	133,013	124,661
貸倒引当金	△892	△1,218
流動資産合計	5,670,455	5,769,818
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	545,176	527,708
機械装置及び運搬具（純額）	164,329	232,318
土地	2,048,448	2,048,448
リース資産（純額）	26,991	49,325
建設仮勘定	22,549	—
その他（純額）	141,229	156,421
有形固定資産合計	2,948,725	3,014,223
無形固定資産		
のれん	82,897	100,703
その他	123,355	120,666
無形固定資産合計	206,253	221,370
投資その他の資産		
投資有価証券	965,478	871,924
長期貸付金	650	—
繰延税金資産	31,773	58,905
その他	219,431	218,758
貸倒引当金	△4	0
投資その他の資産合計	1,217,329	1,149,588
固定資産合計	4,372,308	4,385,181
資産合計	10,042,763	10,155,000

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,443,979	1,502,383
電子記録債務	1,960,400	2,002,989
短期借入金	520,000	590,000
1年内返済予定の長期借入金	741,102	612,794
リース債務	19,717	22,687
未払法人税等	75,724	81,607
賞与引当金	73,969	76,205
その他	267,891	307,258
流動負債合計	5,102,785	5,195,924
固定負債		
長期借入金	1,307,233	1,289,272
リース債務	27,771	46,283
繰延税金負債	79,774	79,088
役員退職慰労引当金	102,477	102,477
退職給付に係る負債	205,798	203,569
資産除去債務	20,483	20,554
その他	51,329	51,369
固定負債合計	1,794,868	1,792,614
負債合計	6,897,653	6,988,538
純資産の部		
株主資本		
資本金	779,294	779,294
資本剰余金	502,721	502,721
利益剰余金	1,622,493	1,711,471
自己株式	△118,002	△124,479
株主資本合計	2,786,505	2,869,007
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	239,370	176,902
その他の包括利益累計額合計	239,370	176,902
非支配株主持分	119,233	120,551
純資産合計	3,145,109	3,166,461
負債純資産合計	10,042,763	10,155,000

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
売上高	5,747,761	6,080,386
売上原価	4,357,788	4,633,170
売上総利益	1,389,973	1,447,215
販売費及び一般管理費	1,228,697	1,299,774
営業利益	161,275	147,440
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	10,111	10,693
持分法による投資利益	—	2,218
為替差益	3,388	—
家賃収入	1,535	1,903
その他	3,894	10,967
営業外収益合計	18,929	25,783
営業外費用		
支払利息	14,293	17,002
持分法による投資損失	932	—
為替差損	—	3,171
その他	192	171
営業外費用合計	15,418	20,345
経常利益	164,787	152,878
特別利益		
固定資産売却益	61	—
投資有価証券売却益	36,264	34,822
受取保険金	882	1,105
段階取得に係る差益	10,314	—
特別利益合計	47,523	35,927
特別損失		
固定資産除却損	3,156	3,464
棚卸資産除却損	3,606	—
特別損失合計	6,762	3,464
税金等調整前中間純利益	205,547	185,341
法人税等	73,146	69,601
中間純利益	132,401	115,740
非支配株主に帰属する中間純利益	2,422	2,010
親会社株主に帰属する中間純利益	129,978	113,729

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
中間純利益	132,401	115,740
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,243	△62,826
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,750	—
その他の包括利益合計	41,493	△62,826
中間包括利益	173,894	52,914
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	171,311	51,262
非支配株主に係る中間包括利益	2,583	1,651

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	205,547	185,341
減価償却費	79,557	81,909
のれん償却額	7,203	12,194
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△331	320
賞与引当金の増減額 (△は減少)	992	2,235
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△2,429	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,777	△2,229
受取利息及び受取配当金	△10,111	△10,693
受取保険金	△882	△1,105
支払利息	14,293	17,002
為替差損益 (△は益)	△3,388	3,171
持分法による投資損益 (△は益)	932	△2,218
投資有価証券売却損益 (△は益)	△36,264	△34,822
段階取得に係る差損益 (△は益)	△10,314	—
固定資産売却損益 (△は益)	△61	—
固定資産除却損	3,156	3,464
売上債権の増減額 (△は増加)	279,371	30,084
棚卸資産の増減額 (△は増加)	9,624	△55,879
仕入債務の増減額 (△は減少)	△344,310	85,580
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3,979	△31,298
その他	△5,972	55,680
小計	187,411	338,737
利息及び配当金の受取額	10,742	10,330
利息の支払額	△15,284	△16,869
法人税等の支払額	△96,696	△64,305
保険金の受取額	882	1,323
和解金の受取額	6,000	6,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	93,055	275,216
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△150
有形固定資産の取得による支出	△76,194	△91,102
有形固定資産の売却による収入	70	34
投資有価証券の取得による支出	△9,790	△10,000
投資有価証券の売却による収入	83,195	49,855
貸付けによる支出	△3,000	△50
貸付金の回収による収入	4,070	4,960
のれんの取得による支出	—	△20,000
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	70,538	—
その他	△8,233	△7,251
投資活動によるキャッシュ・フロー	60,656	△73,703

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	150,000	70,000
長期借入れによる収入	560,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△756,428	△446,269
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△10,615	△11,584
自己株式の取得による支出	—	△6,476
配当金の支払額	△20,721	△24,751
非支配株主への配当金の支払額	—	△334
財務活動によるキャッシュ・フロー	△77,765	△119,416
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	75,946	82,096
現金及び現金同等物の期首残高	832,954	970,300
現金及び現金同等物の中間期末残高	908,900	1,052,396

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用につきましては、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取扱商品に基づき、「産業ガス・溶材機材事業」、「ファイン製品事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「産業ガス・溶材機材事業」は、主に、酸素ガス、窒素ガス、アルゴンガス、アセチレンガス等の産業ガスの製造販売及びガス関連装置の仕入販売のほか、溶接材料、溶接溶断機器、器具機材及び産業機械全般の仕入販売を行っております。

「ファイン製品事業」は、主に、各種工業用薬品、合成樹脂製品、高純度化学品、食品添加物、フロン代替用スーパーガス（HFO）、アルミ製品等の販売、並びにその用途開発によるウレタン断熱パネルの製造販売及び断熱工事のほか、建築用塗料及び塗材等の製造販売、ガス循環精製装置等の半導体関連機器の製造販売等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、中間連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の売上高又は振替高は、原価ベースに基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業ガス・ 溶材機材 事業	ファイン 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,131,976	1,601,270	5,733,246	14,514	5,747,761	—	5,747,761
セグメント間の内部 売上高又は振替高	29,249	—	29,249	—	29,249	△29,249	—
計	4,161,225	1,601,270	5,762,495	14,514	5,777,010	△29,249	5,747,761
セグメント利益	114,472	41,868	156,340	4,934	161,275	—	161,275
その他の項目							
減価償却費(注) 3	70,920	8,674	79,594	58	79,652	—	79,652
のれんの償却額	4,764	2,439	7,203	—	7,203	—	7,203

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業を含んでおります。
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. 減価償却費には長期前払費用に係る償却費が含まれております。
4. セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはして
いないため記載しておりません。

当中間連結会計期間(自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	産業ガス・ 溶材機材 事業	ファイン 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,454,295	1,611,697	6,065,993	14,392	6,080,386	—	6,080,386
セグメント間の内部 売上高又は振替高	97,669	4,438	102,107	—	102,107	△102,107	—
計	4,551,964	1,616,136	6,168,100	14,392	6,182,493	△102,107	6,080,386
セグメント利益	131,017	11,650	142,668	4,772	147,440	—	147,440
その他の項目							
減価償却費(注) 3	70,239	11,731	81,971	33	82,004	—	82,004
のれんの償却額	9,755	2,439	12,194	—	12,194	—	12,194

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業を含んでおります。
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. 減価償却費には長期前払費用に係る償却費が含まれております。
4. セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはして
いないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。